

「日本植物燃料株式会社」は TICAD8 に向けてアフリカビジネス協議会農業ワーキンググループで進める Small Smart Community (SSC) 実施のためモザンビーク国の政府機関「ADIN」と協力合意文書を締結しました。

～ All Japan でアフリカ農村の豊かなくらしを実現します。～

再生可能エネルギー・農業・金融事業を行う日本植物燃料株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:合田真)は、モザンビーク国の子会社 ADM 社を通じて 2021 年 12 月 28 日にモザンビーク国北部の復興開発を行う政府機関 ADIN とアフリカビジネス協議会農業ワーキンググループで進めている Small Smart Community イニシアティブの実現に向けた基本合意を締結するに至りましたので、お知らせします。



協力合意に至った背景

ADIN はモザンビーク政府機関で北部地域の開発を担っています。今は特にテロからの復興開発を重点的に進めています。日本植物燃料株式会社のモザンビーク子会社である ADM 社は 2012 年に設立されモザンビーク国北部地域を中心に再生可能エネルギー・農業・金融分野の事業を行っています。ADM 社自身もテロの影響により拠点を移転したこともあり、その復興開発に協力することとなりました。

協力合意の内容

アフリカビジネス協議会農業ワーキンググループでは、日本の農村開発の歴史と経験を踏まえ自律分散型のインフラ整備と経済活動向上に加え教育や医療など生活向上に資する新たな農村モデルをアフリカから始めることを目指しています。Small Smart Community の Small は自律分散型のインフラ、Smart はデジタル化、Community は農家の主体的取組を意味します。具体的には1. 太陽光発電と通信 2. 農業用水ポンプと灌漑農業 3. バリューチェーンデジタル化と受渡拠点としての保管倉庫の3つを柱とし、これらを備えた SSC 拠点を 100 ヶ所作ることを目指すため相互に協力することに合意しました。

2021 年 12 月に行われた日アフリカ官民ビジネスフォーラムにおいて 25 社の日本企業が SSC への参加について関心表明を行っております。大手企業、大手医療グループ、スタートアップなど業種業界を跨いだ All Japan の取り組みとなっており、引き続き多くの企業の参加を求めています。

《ADIN》について

【会社概要】

会社名: Agência de Desenvolvimento Integrado do Norte

所在地: Cidade de Pemba, Acre African Century , Bairro Mahate, EN 106, Cabo Delgado, Moçambique

代表者: Armingo S.A. Ngunga

設立: 2020 年 6 月

URL: <https://adin.gov.mz/>

事業内容: モザンビーク北部三州の地域開発

《日本植物燃料株式会社》について

【会社概要】

会社名: 日本植物燃料株式会社

所在地: 東京都千代田区大手町 1-6-1

代表者: 合田真

設立: 2000 年

URL: <https://nbf-web.com/>

事業内容: 再生可能エネルギー・農業・金融

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

担当者: 合田

TEL: 050-5532-4052

e-mail: makoto_goda@nbf-web.com